

社団法人日本精神保健福祉士協会 構成員の休会に関する規程

2010年11月13日制定

規程第35号

(目的)

第1条 この規程は、社団法人日本精神保健福祉士協会（以下「本協会」という。）構成員規則第14条の規定に基づき、本協会構成員（以下「構成員」という。）の休会に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(休会理由)

第2条 構成員は、次の各号の理由により、休会することができる。

- (1) 海外への留学・勤務・移住
- (2) 長期病気療養
- (3) 出産・育児・介護休暇
- (4) その他理事会において承認された理由

(期間)

第3条 休会期間は、年度単位とし、理事会において休会が承認された日の属する年度の翌年4月1日から2年度を限度とする。ただし、特別な理由がある場合、理事会の承認を得て、2年度を上限として休会を延長することができる。

(条件)

第4条 構成員は、次の各号の条件を満たし、毎年4月1日から翌年1月31日までの間に開催される理事会において休会の承認を得た者とする。

- (1) 理事会が定める休会届（様式1）に必要事項を記入し、休会しようとする年度の前年度12月末日までに会長に提出すること。
- (2) 休会しようとする年度の前年度までの会費が納入されていること。
- (3) 過去の休会から2年度以上経過していること。

2 休会の理由が第2条第1項第2号の規定に該当する場合、前項第2号の会費納入方法については可能な範囲で相談に応じるものとする。

(権利等の停止等)

第5条 休会する構成員は、休会中、構成員が有する権利や義務等に関して、次の各号の取り扱いを行う。

- (1) 会費納入免除（預金口座振替（自動払込）の停止）
- (2) 機関誌等定期刊行物等の送付停止
- (3) 議決権の停止
- (4) その他構成員として有する権利や義務等の停止

2 休会の年度数は、原則として、本協会において期限のある認定期間等の年数計算に算入する。

3 第1項第2号の取扱いは、休会する構成員の申し出により、理事会において休会が承認された年度から行うことができる。

(復会)

第6条 休会中の構成員は、休会が終了する年度の12月末日までに、理事会が定める復会届（様式2）を会長に提出することで、翌年度から復会することができる。

2 会費の納入方法について、休会前に預金口座振替（自動払込）を利用していた構成員は、復会届と併せて預金口座振替依頼書（自動払込利用申込書）を再提出しなければならない。

（休会延長）

第7条 休会中の構成員が休会延長を希望する場合は、休会が終了する年度の12月末日までに、理事会が定める休会延長願（様式3）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

2 休会中の構成員は、休会延長願が理事会で承認されなかった場合、復会届又は退会届を会長に提出しなければならない。なお、その場合の復会届の提出期日は、休会が終了する年度末までとする。

（退会処理）

第8条 休会中の構成員から、休会が終了する年度の12月末日までに復会届又は休会延長願の提出がなかった場合は、退会したものとみなす。

2 休会延長願が理事会で承認されず、休会が終了する年度末までに復会届又は退会届の提出がなかった場合は、退会したものとみなす。

（退 会）

第9条 休会中の構成員が退会する場合は、第7条第2項の規定により退会届を提出する場合を除いて、休会が終了する年度の12月末日までに退会届を提出しなければならない。

（改 廃）

第10条 この規程の改廃は、理事会の承認を経なければならない。

（細 則）

第11条 この規程に定めるもののほか、構成員の休会に関して必要な事項は、理事会の議決を経て、別に定める。

附 則

1 この規程は、2010年11月13日から施行する。

2 2011年度における休会は、2011年4月30日までの間に開催される理事会において承認を得るものとする。